

受賞者氏名	法政大学別府研究室	
所属	社会学部	
受賞年月日	2021年11月15日	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	第41回「地方の時代」映像祭	
受賞名	「市民・学生・自治体部門」優秀賞 https://www.chihounojidai.jp/work/2021.html	
受賞(研究)内容詳細	<p>・受賞作品名 「ルソンの祈り～順子ちゃんの戦場をたどって」 (記録映画・40分・別府研究室制作、2021年版)</p> <p>https://youtu.be/MyBO_uejHAM (地方の映像祭エントリー版) https://youtu.be/NjwLarkrxOc (作品紹介3分版)</p> <p>・きっかけは、多摩キャンパスにある石碑 「本作品は、社会学部別府ゼミナール(ジャーナリズム研究)の研究活動から生まれた記録映像です。資料を読み解き、現地に足を運び、当事者の語りに触れ、検証と分析を続ける中で、これは同世代にも伝えたい、という学生さんたちの意見が徐々に強くなり、映像作品としての制作に至りました。 法政大学多摩キャンパスには、本学の戦没学徒兵のための石碑があります。2017年夏、その由来を調べる途上で、故阿利莫二元総長の著書『ルソン島―死の谷』(岩波書店、1987年刊)を輪読しました。この本は、1943年に第一回学徒出陣で出兵し、戦後にかろうじて生還した著者の、ルソン島北部における極限の体験を記録したものです。ある学生がレジュメ発表で「なんで、こんなところに民間人の邦人母子が2000人もいたんだろうか」という素朴な問いを出しました。</p> <p>・行間を埋める社会調査 その疑問の答えを探するため、結局2学年4年間にわたる共同研究を行うことになりました。学徒兵の経験、太平洋戦争における南洋諸島の戦況、日本軍によるフィリピンの占領から敗戦までの経緯、ルソン島ではじめられた空の特攻作戦と陸の玉砕戦、戦禍により住民の多くが餓死にいたる経緯…。阿利先生の本を解説するために必要な調べものが、たくさんありました。大量の文献調査を踏まえ、フィリピン・ルソン島北部山岳地帯、長崎県佐世保、大阪や宮崎で、戦時中を知る人たちに対する聞き取り調査を重ねました。 フィリピンの山岳地帯はイゴロット語なので、場所の特定に難儀しました。当時の新聞や元兵士たちの手記・文献はもとより、米国側の戦争記録写真のキャプション、日本軍の従軍カメラマンの記録などを読み重ね、地図をつくり、徐々に点が線となり、道となっていきました。</p> <p>・ドキュメンタリー映画の制作 ドキュメンタリーとして描くときには、阿利先生の本に数行記載のあった新美彰さんの足跡を軸に脚本を作りました。新美さんは1945年夏、ルソン島北部山岳地帯で一人娘を餓死で失い、敗戦後にひとり引き揚げてきた邦人女性です。 新美さんは戦後の日本で、もう戦争のことはいいでしょう、と周りにいわれながら、彫像・絵・音楽など、様々な表現活動に取り組み、母親としての戦争体験を生涯語り続けました。新美さん親子の身に何が起きたのか。何を、なぜ語り継ごうとしたのか。私たちは、新美さんがいた季節に現地を歩いてみました。行く先々でご高齢の住民を探し、記憶に残る戦時中の邦人について、話をうかがいました。日本で新美さんの遺作を探すと、長崎県佐世保にある釜墓地に行きつきました。フィリピンで敗戦後に絶命した数千におよぶ無縁仏の墓でした。 「戦争は弱いものに犠牲を強いる」。 調査の中で、度々出会った言葉です。ドキュメンタリー制作を最初から意図していたわけではないので、受賞は望外のことでした。語り遺した方々の想いを、</p>	

掘り起し繋いでいくことの難しさと大切さや、戦争は今も終わっていないことに改めて気づかされる、4年にわたる調査と記録の旅となりました。

【『「地方の時代」映像祭』とは】

この映像祭は、「地域・地方からわが国のあり方を問う」という基本テーマのもと、1980年に始められました。現在は、NHK、民間放送連盟、日本ケーブルテレビ連盟など5者の共同主催となっています。映像祭に全国各地から寄せられた応募作品は、すでに6千本を超えています。

第41回(2021年度)の応募作品総数は270本。別府研究室の作品は、「市民・学生・自治体部門」への応募64作品の中から、他の3作品と共に優秀賞をいただきました。他に、「放送局部門」135本、「ケーブルテレビ部門」49本、「高校生(中学生)部門」22本の応募がありました。

【学内の皆さまに大変お世話になりました、ありがとうございました】

- ・社会学部棟101教室の設備+助手さんたち
- ・法政大学大学史センターの職員さんたち&法政大学OB・元学徒兵の皆さん
- ・社会学部学会&『社会士林』
- ・多摩図書館・司書さんたち



・新美さんの彫像を観察する



・佐世保市の慰霊祭での聞き取り



・受賞記念の賞状と盾



・ルソン島での聞き取り調査